



みんな笑顔でむかえてほしい、日本の秋。

オータムジャンボ宝くじ

2011年 新市町村振興宝くじ オータムジャンボ宝くじ  
2億5,000万円  
売り切れしだい発売終了!

●1等:1億5,000万円/前後賞各5,000万円  
●発売期間 9月28日(月)~10月14日(金) ●抽せん日 10月21日(金)

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

9/26  
日発売

1枚300円

## ふらの沿線スポーツフェスタ 「ラフティング」を満喫 (9月18日)

道北圏広域スポーツセンター協議会の主催によるスポーツフェスタが開催され、南富良野町では、富良野沿線3町村から家族を中心に15名が参加して、空知川でラフティングを行いました。この日は小雨が降るあいにくの天候でしたが、ドライスーツを着用している参加者には影響なく、ラフティングの醍醐味を満喫したようでした。

このスポーツフェスタは、地域スポーツの振興を図るため、富良野沿線の体育協会と教育委員会が協議会を組織し、地域の特色を活かした種目を5市町村で分担して行っています。



## シリーズ 学校だより (105)

各学校の取り組みを紹介します。

### ▶▶南富良野中学校▶▶▶



みんなの絆を一つに！  
心に響く学校祭  
9月11日に第7回学校祭を開催しました。今年度は、「みんなの絆を一つに！心に響く学校祭」をテーマとして、学校が一丸となって感動の輪を広げる教育活動を推進し、地域の皆様に感謝の気持ちを伝えられるように様々な取り組みに挑戦しました。  
生徒会長の花巻峻馬さんは、今年の学校祭を迎えるにあたり、次のようなメッセージを発信してくれました。  
「限られた時間の中、自分たちで計画を立て、各学年がそれぞれ協力して、ステージ

今日、キャリア教育の推進と言語活動の充実が学校教育における重要な課題となっています。本校においては、様々な教育活動を通して、人間としての生き方や在り方を体験的に学ばせると共に、言葉のやりとりを通して、思考力、判断力、表現力を高め、人間関係づくりの基盤となるコミュニケーション能力を身に付けさせるよう取り組んでいます。



発表や合唱の練習、係活動に一生懸命取り組んできました。また、今年から新校舎になり、様々な新しい企画にも挑戦しています。ご来校いただいた方々に、多くの感動を与えられるよう、学校一丸となつて最高の学校祭を作り上げます。みんなの心が一つになる時、最高のパフォーマンズが生まれると信じて！



## 中学3年生が南富高校を見学 (9月6日)

来春に高校進学を控えた中学3年生に南富良野高校の魅力をPRしようと、同校で見学・説明会が行われ、地元南富良野中学校をはじめ富良野沿線市町村の生徒67名が参加しました。

学校紹介では、学習上の特徴である習熟度別学習、進路や興味・関心に応じた類型選択授業、資格取得などの検定料や通学費の助成、朝学習や土曜講習、1校時前の0時間目授業について説明され、実際に授業を見学しました。

最後に在校生(3年生)による学校紹介では、国際交流事業(オーストラリアへの短期留学)や部活動、学校行事や特色ある授業の様子などを生徒の目線からビデオを活用しながらの紹介が行われました。

生徒の皆さんは緊張ぎみでしたが、今後の進路を決める上で、大切な説明会であることから、どの場面でも真剣な眼差しで臨んでいました。



## 元気にチャレンジ (9月10日)

町教育委員会が主催する幼児健康スポーツ教室が5・6歳の幼児と保護者を対象に町民体育館で開催され30名(うち幼児14名)の皆さんが参加し、幼児の皆さんは元気に挑戦していました。

この日は、幼児の体力測定(25m走・ボール投げ・立ち幅跳びなど5種目)と町の保健師による保健指導、親子運動教室が行われ、親子運動教室では、講師のNPO法人健康保養ネットワーク 健康運動指導士 柳沼浩氏より北海道の子どもの体力の現状や筋肉の発育と幼児期の運動の必要性について説明され、保護者の皆さんは熱心に聞き入っていました。最後に家庭でもできる親子運動を楽しく行いました。

## 「第30回ふれあいフェスタ」 多くの町民で賑わう (9月3日)

南富良野大乗会の主催によるからまつ園・こざくら園・なんぶ〜香房の合同による「第30回ふれあいフェスタ」が保健福祉センターみなくるで行われました。

上富良野自衛隊曹友会による吹奏楽ではじまり、利用者の皆さんによるハンドベルの披露、職員や地元アマチュアバンド「ミステイク」によるバンド演奏、幾寅保育所園児によるヨサコイなどが行われたり、利用者の皆さんもステージに加わって踊りを披露し、お笑いミニステージや大抽選会など楽しい催しが行われました。

また、会場では、町内外の協力団体による模擬店やバザー、農産物の加工品販売、各種作品の展示販売などが多数催され、詰めかけた多くの町民で賑わっていました。



## 長寿のお祝い (9月13・18日)

9月13日に特別養護老人ホーム一味園で、「敬老会」が行われ、長寿を祝いました。

この日は、百一賀の高松幸子さんをはじめ、百賀・卒寿・米寿を迎えられた6名の皆さんに記念品が一味園長から贈呈されました。

引き続き、富良野文化協会「平子社中」の皆さんによる琴や尺八の演奏が披露され、赤とんぼや茶摘など懐かしい演奏に耳を傾けていました。

18日には、特別養護老人ホームふくしあでも「翁花祭」が行われ白寿を迎えた佐藤あさ子さんに表彰状と記念品が贈呈され、職員による「よさこい」の踊りやボランティアによる「手品」や「腹話術」が披露されました。

